

# 平成27年10～12月期結果(確報)の概要

## I 今期の概況

### 1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断D I

① 今期の業況判断

今期（平成27年10～12月期）の業況判断D Iは (-)58.1 で、前期（平成27年7～9月期）(-61.5)に比べ、3.4 ポイントの改善。

② 来期の見通し

来期（平成28年1～3月期）の業況見通しD Iは (-)60.2 で、今期の業況判断 (-58.1) に比べ、2.1 ポイントの悪化の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 — 調査産業計 —

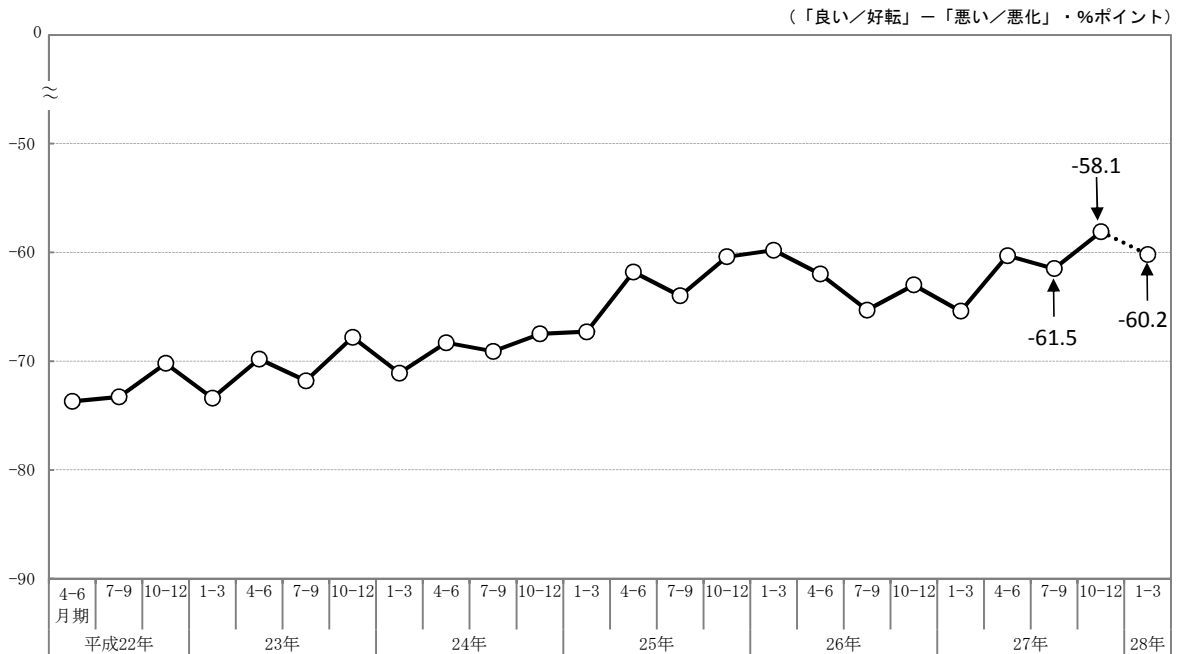


表1 業況判断の割合 — 調査産業計 —

	平成26年	27年				28年	
	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期 見通し	
今期の業況, 来期の業況 (%)							
良い/好転	4.0	3.1	3.5	4.0	4.2	2.4	
普通/不変	29.0	28.4	32.7	30.4	33.5	35.0	
悪い/悪化	67.0	68.5	63.8	65.5	62.3	62.6	
D I	-63.0	-65.4	-60.3	-61.5	-58.1	-60.2	
参考	日銀短観(大企業全産業計)	14	16	19	19	18	13
	中小企業景況調査(全産業計)	-28.1	-29.7	-24.6	-24.7	-22.9	-9.9

(注) 「中小企業景況調査」：(独)中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成28年1月上旬から中旬までである。

## 2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	237万9000円で、前年同期に比べ、2.7%の減少
□「卸売業、小売業」は	406万5000円で、前年同期に比べ、7.3%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	231万2000円で、前年同期に比べ、7.5%の増加
□「サービス業」は	128万5000円で、前年同期に比べ、1.2%の減少
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	64万4000円で、前年同期に比べ、2.1%の減少
□「卸売業、小売業」は	48万4000円で、前年同期に比べ、5.3%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	47万円で、前年同期に比べ、11.4%の増加
□「サービス業」は	47万1000円で、前年同期に比べ、1.9%の減少

※前年同期(平成26年10～12月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
実数 (千円)	平成25年 10～12月期	2,474	676	4,376	441	2,249	406	1,274	448
	平成26年 1～3月期	2,293	654	4,007	463	2,018	341	1,102	352
	4～6月期	2,131	613	3,981	431	2,154	402	1,210	456
	7～9月期	2,314	626	4,146	370	2,168	420	1,230	433
	10～12月期	2,444	658	4,384	511	2,150	422	1,301	480
	平成27年 1～3月期	2,182	595	3,601	394	2,042	373	1,227	395
	4～6月期	2,466	673	3,729	428	2,148	365	1,327	469
	7～9月期	2,310	675	3,609	366	2,203	368	1,215	446
	10～12月期	2,379	644	4,065	484	2,312	470	1,285	471
前年同期比 (%)	平成25年 10～12月期	-7.8	-11.6	-1.2	1.4	2.7	4.1	-1.3	-3.2
	平成26年 1～3月期	9.9	16.2	1.5	25.8	-1.9	-11.0	-10.6	-17.6
	4～6月期	-2.4	-2.7	1.2	8.3	3.2	-5.2	-13.9	-12.6
	7～9月期	9.2	-3.8	4.5	-17.0	0.5	-3.0	-3.5	-0.9
	10～12月期	-1.2	-2.7	0.2	15.9	-4.4	3.9	2.1	7.1
	平成27年 1～3月期	-4.8	-9.0	-10.1	-14.9	1.2	9.4	11.3	12.2
	4～6月期	15.7	9.8	-6.3	-0.7	-0.3	-9.2	9.7	2.9
	7～9月期	-0.2	7.8	-13.0	-1.1	1.6	-12.4	-1.2	3.0
	10～12月期	-2.7	-2.1	-7.3	-5.3	7.5	11.4	-1.2	-1.9

## 3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	9万3000円で、前年同期(7万8000円)に比べ、増加
□「卸売業、小売業」は	8万1000円で、前年同期(8万9000円)に比べ、減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	6万2000円で、前年同期(11万8000円)に比べ、減少
□「サービス業」は	7万1000円で、前年同期(4万3000円)に比べ、増加
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	3.9%で、前年同期(3.2%)に比べ、0.7ポイントの上昇
□「卸売業、小売業」は	2.0%で、前年同期(2.0%)と同率
□「宿泊業、飲食サービス業」は	2.7%で、前年同期(5.5%)に比べ、2.8ポイントの低下
□「サービス業」は	5.5%で、前年同期(3.3%)に比べ、2.2ポイントの上昇

※前年同期(平成26年10～12月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成25年 10～12月期		122	4.9	89	2.0	89	4.0	44	3.5
平成26年 1～3月期		116	5.1	83	2.1	87	4.3	73	6.6
4～6月期		85	4.0	68	1.7	45	2.1	75	6.2
7～9月期		104	4.5	85	2.1	77	3.6	40	3.3
10～12月期		78	3.2	89	2.0	118	5.5	43	3.3
平成27年 1～3月期		111	5.1	109	3.0	47	2.3	37	3.0
4～6月期		148	6.0	79	2.1	82	3.8	47	3.5
7～9月期		135	5.8	86	2.4	159	7.2	57	4.7
10～12月期		93	3.9	81	2.0	62	2.7	71	5.5

## Ⅱ 業況判断

### 1 調査産業計

#### (1) 業況

##### ① 今期の業況

ア 今期（平成27年10～12月期）の業況判断D Iは（-）58.1で、前期（平成27年7～9月期）（-61.5）に比べ、3.4ポイント改善した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）40.5で、前期（-47.2）に比べ、6.7ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成26年10～12月期）と比較した業況判断D Iは（-）50.2で、前期（-51.5）に比べ、1.3ポイント改善した。

##### ② 来期の業況見通し

来期（平成28年1～3月期）の業況見通しD Iは（-）60.2で、今期の業況判断（-58.1）に比べ、2.1ポイントの悪化の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

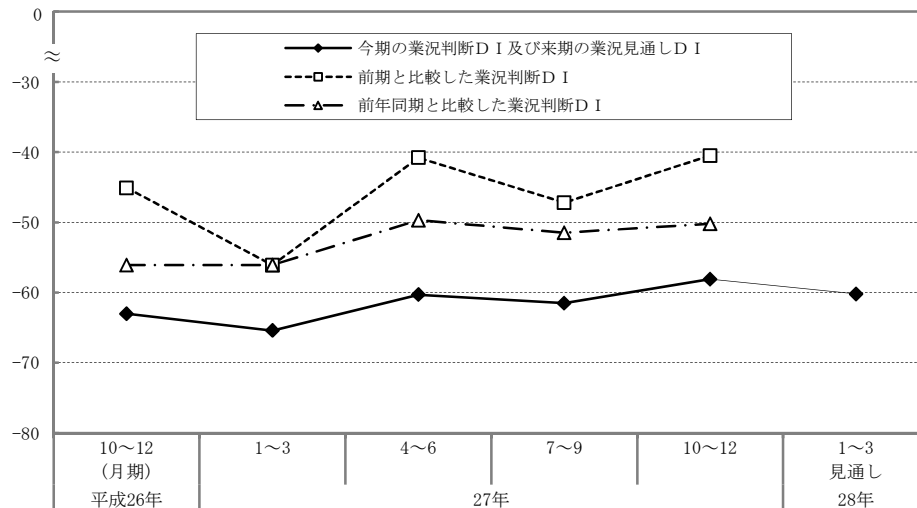
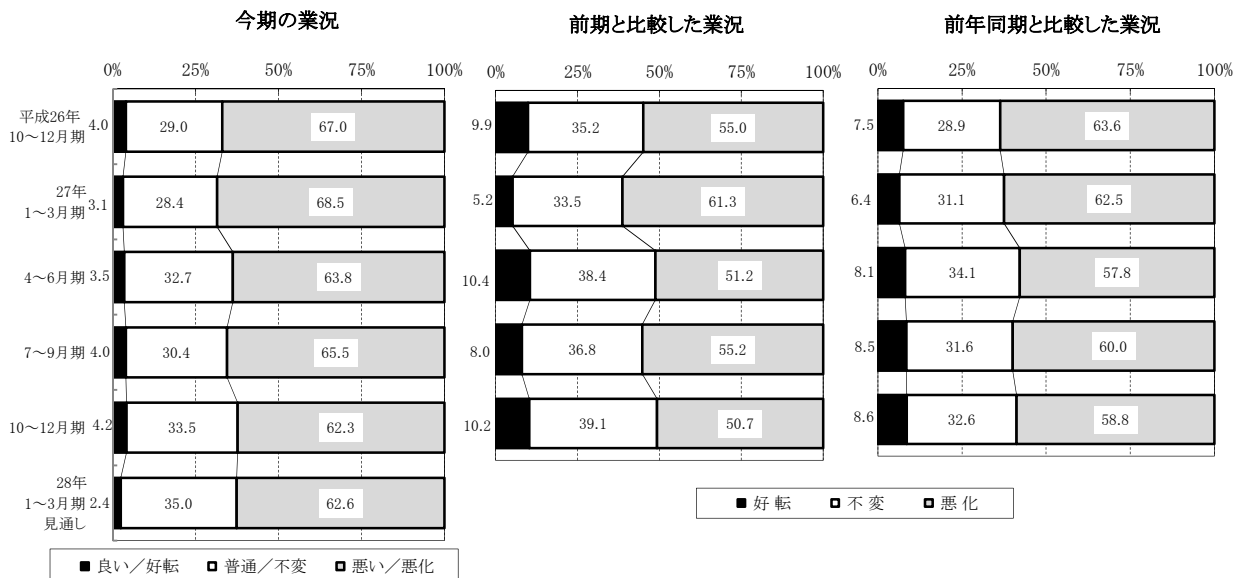


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



## (2) 売上の状況

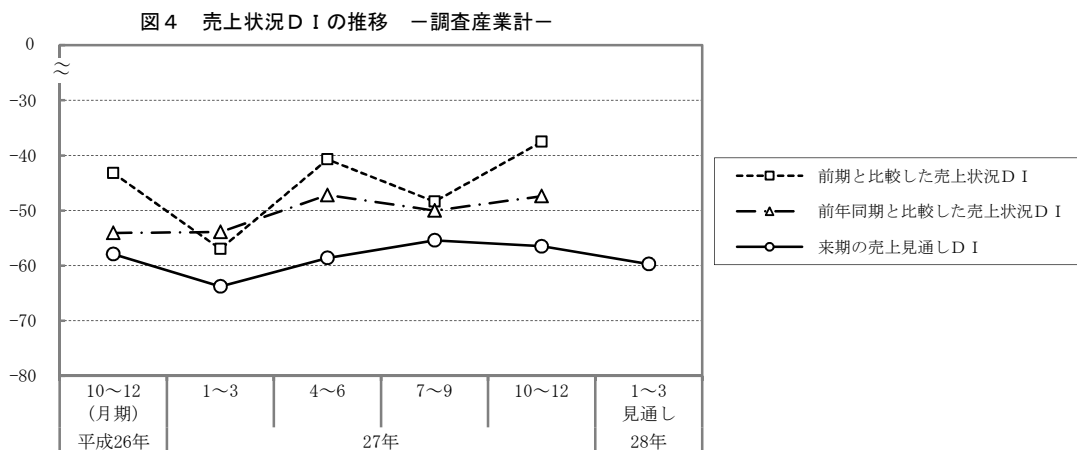
### ① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況D Iは (-)37.5 で、前期 (-48.4) に比べ、10.9 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況D Iは (-)47.4 で、前期 (-50.0) に比べ、2.6 ポイント改善した。

### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは (-)59.7 で、前期における今期の売上見通し (-56.5) に比べ、3.2 ポイントの悪化の見通しとなっている。



## (3) 営業利益の状況

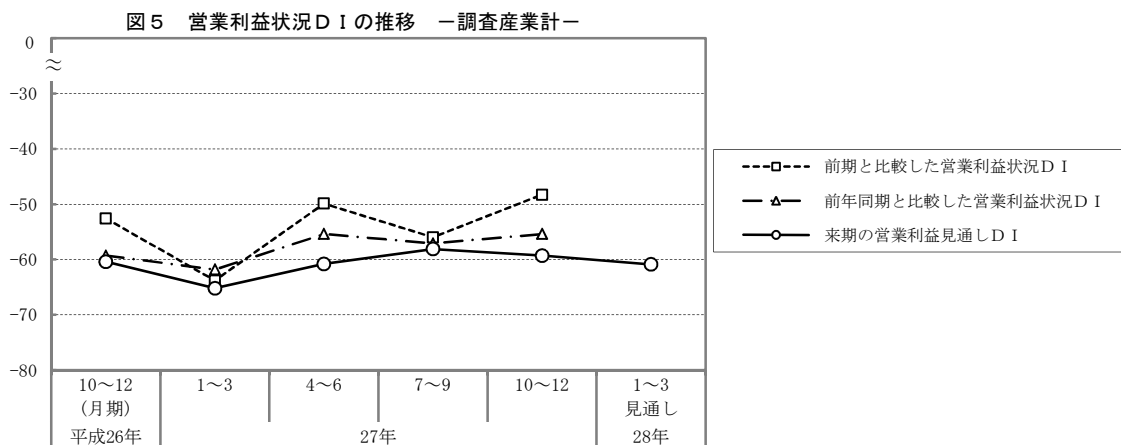
### ① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況D Iは (-)48.3 で、前期 (-56.0) に比べ、7.7 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは (-)55.4 で、前期 (-57.1) に比べ、1.7 ポイント改善した。

### ② 来期の営業利益見通し

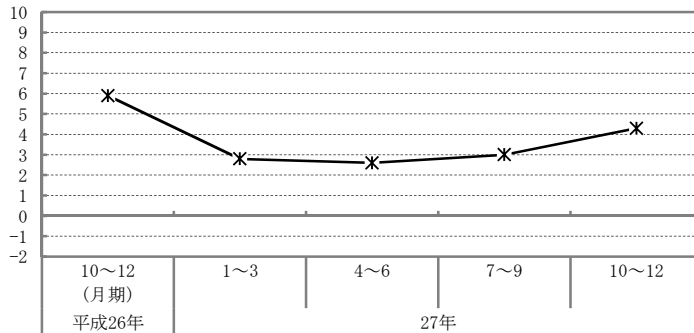
来期の営業利益見通しD Iは (-)60.9 で、前期における今期の営業利益見通し (-59.3) に比べ、1.6ポイントの悪化の見通しとなっている。



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)4.3 で、前期 (+3.0) に比べ、1.3ポイント「過剰」が拡大した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

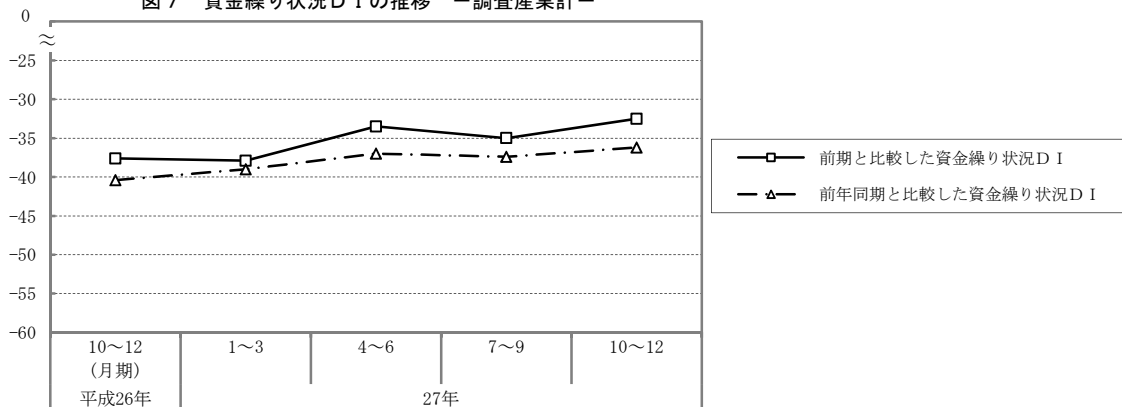


#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)32.5 で、前期 (-35.0) に比べ、2.5ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)36.2 で、前期 (-37.4) に比べ、1.2ポイント改善した。

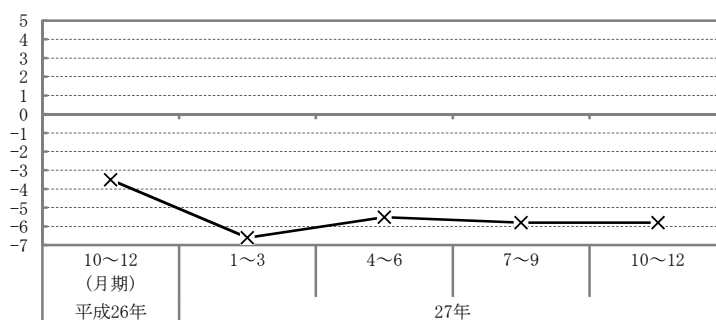
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)5.8 で、前期 (-5.8) から、横ばいとなった。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



## 2 製造業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成27年10～12月期）の業況判断DIは(-)47.5で、前期（平成27年7～9月期）(-49.6)に比べ、2.1ポイント改善した。

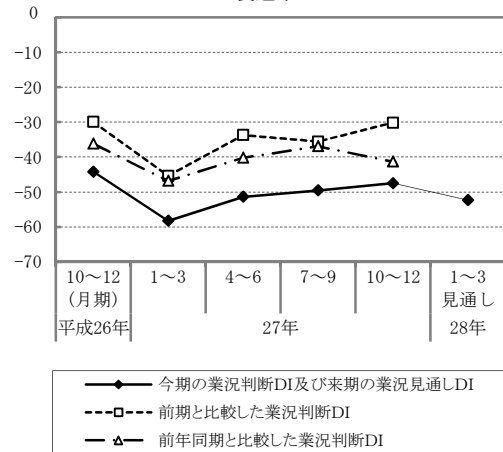
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)30.2で、前期(-35.6)に比べ、5.4ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成26年10～12月期）と比較した業況判断DIは(-)41.3で、前期(-36.9)に比べ、4.4ポイント悪化した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成28年1～3月期）の業況見通しDIは(-)52.3で、今期の業況判断(-47.5)に比べ、4.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移  
—製造業—



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

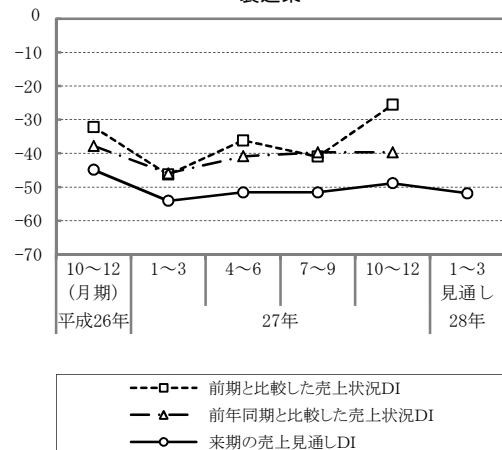
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)25.6で、前期(-41.0)に比べ、15.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)39.7で、前期(-39.7)から、横ばいとなった。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)51.9で、前期における今期の売上見通し(-48.9)に比べ、3.0ポイントの悪化の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移  
—製造業—



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

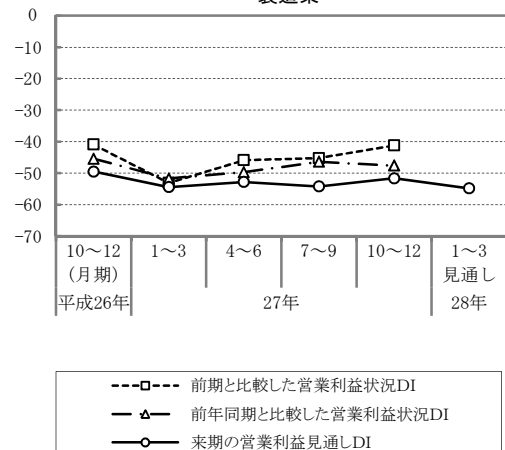
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)41.2で、前期(-45.2)に比べ、4.0ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)47.6で、前期(-46.4)に比べ、1.2ポイント悪化した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)54.8で、前期における今期の営業利益見通し(-51.6)に比べ、3.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移  
—製造業—



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.0 で、前期 (+0.3) に比べ、1.7 ポイント「過剰」が拡大した。

#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)27.6 で、前期 (-27.4) に比べ、0.2 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)31.4 で、前期 (-29.5) に比べ、1.9 ポイント悪化した。

#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.1 で、前期 (-8.4) に比べ、2.3 ポイント「不足」が縮小した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

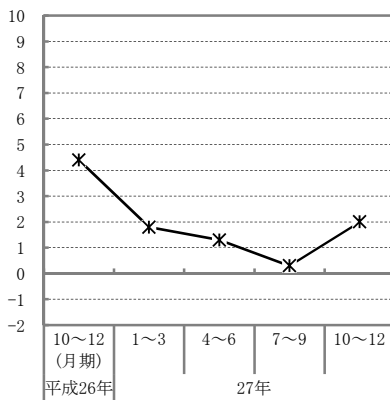


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

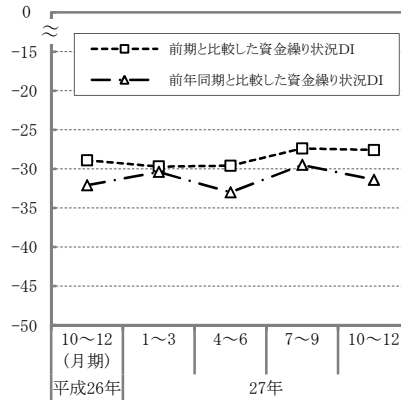
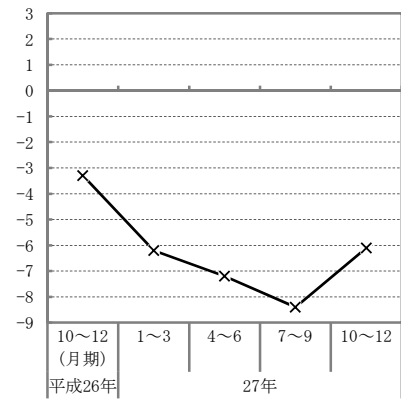


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



### 3 卸売業、小売業

#### (1) 業況

##### ① 今期の業況

ア 今期（平成27年10~12月期）の業況判断DIは (-)63.2 で、前期（平成27年7~9月期） (-64.8) に比べ、1.6 ポイント改善した。

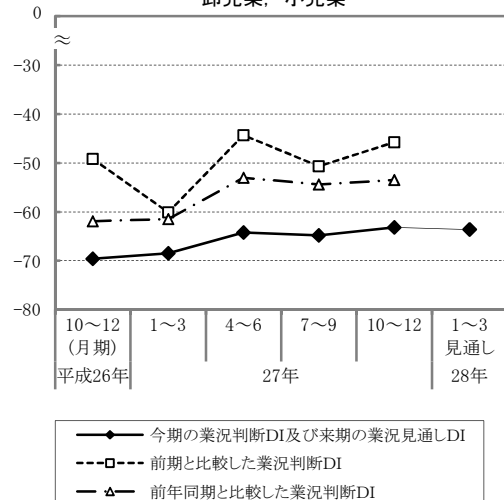
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)45.8 で、前期 (-50.7) に比べ、4.9 ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成26年10~12月期）と比較した業況判断DIは (-)53.5 で、前期 (-54.4) に比べ、0.9 ポイント改善した。

##### ② 来期の業況見通し

来期（平成28年1~3月期）の業況見通しDIは (-)63.6 で、今期の業況判断 (-63.2) に比べ、0.4 ポイントの悪化の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業、小売業-



## (2) 売上の状況

### ① 今期の売上の状況

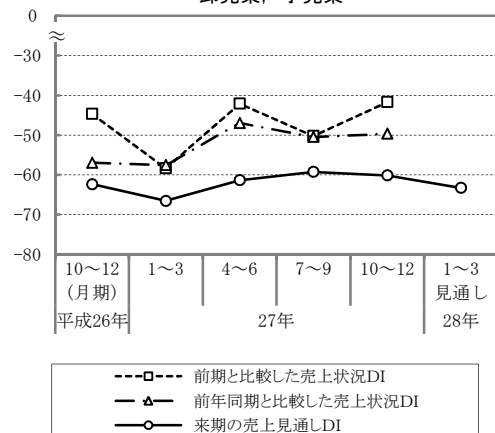
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)41.7で、前期(-50.3)に比べ、8.6ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)49.7で、前期(-50.5)に比べ、0.8ポイント改善した。

### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)63.3で、前期における今期の売上見通し(-60.2)に比べ、3.1ポイントの悪化の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移  
—卸売業、小売業—



## (3) 営業利益の状況

### ① 今期の営業利益の状況

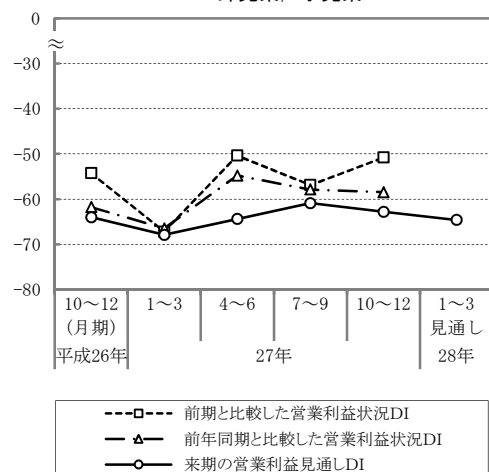
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)50.8で、前期(-56.9)に比べ、6.1ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)58.5で、前期(-57.9)に比べ、0.6ポイント悪化した。

### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)64.6で、前期における今期の営業利益見通し(-62.8)に比べ、1.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移  
—卸売業、小売業—



## (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+ )7.8で、前期(+6.3)に比べ、1.5ポイント「過剰」が拡大した。

## (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)32.9で、前期(-36.0)に比べ、3.1ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)36.6で、前期(-38.6)に比べ、2.0ポイント改善した。

## (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.7で、前期(-5.6)に比べ、0.1ポイント「不足」が拡大した。



図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業、小売業-

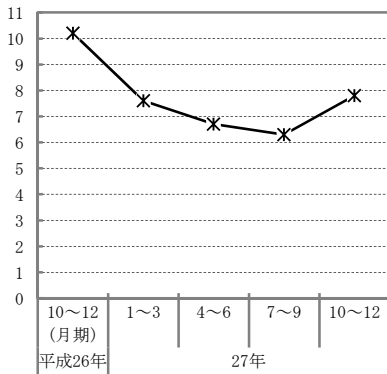


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業、小売業-

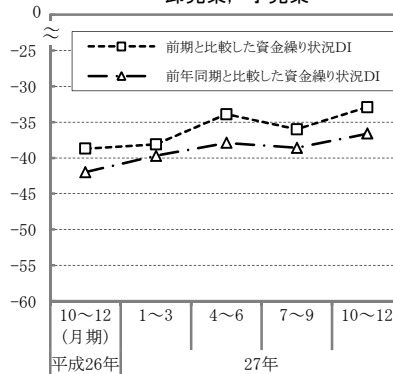
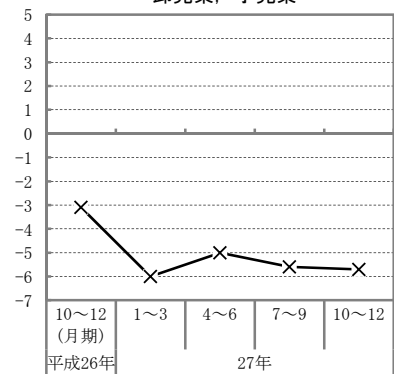


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業、小売業-



## 4 宿泊業、飲食サービス業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成27年10~12月期）の業況判断DIは(-)51.0で、前期（平成27年7~9月期）(-56.8)に比べ、5.8ポイント改善した。

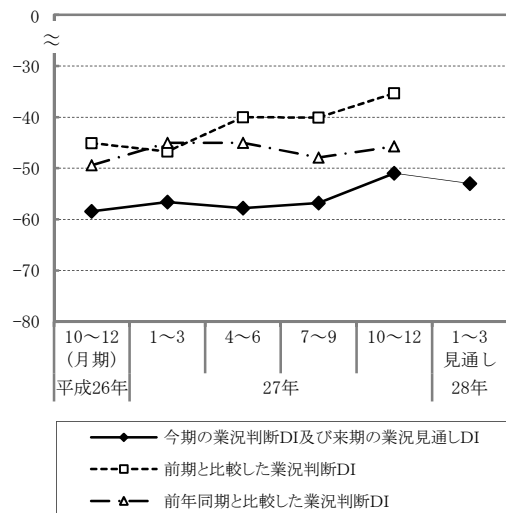
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)35.3で、前期(-40.1)に比べ、4.8ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成26年10~12月期）と比較した業況判断DIは(-)45.7で、前期(-47.9)に比べ、2.2ポイント改善した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成28年1~3月期）の業況見通しDIは(-)53.0で、今期の業況判断(-51.0)に比べ、2.0ポイントの悪化の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

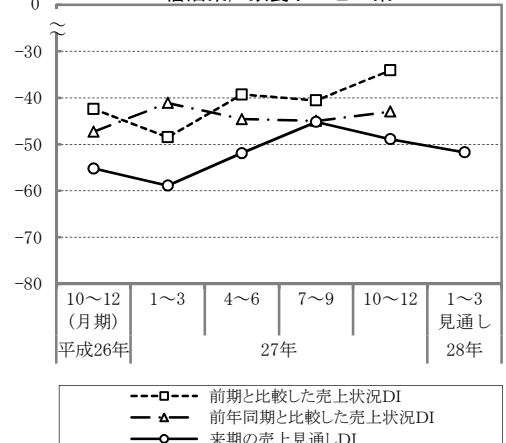
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)34.1で、前期(-40.6)に比べ、6.5ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)43.0で、前期(-45.0)に比べ、2.0ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)51.7で、前期における今期の売上見通し(-48.9)に比べ、2.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

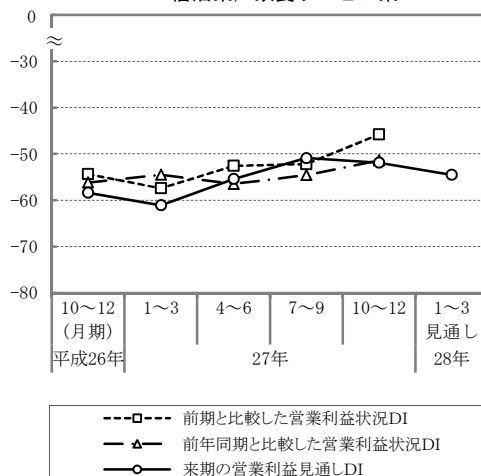
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)45.8で、前期(-52.2)に比べ、6.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)51.4で、前期(-54.6)に比べ、3.2ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)54.5で、前期における今期の営業利益見通し(-51.9)に比べ、2.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—



### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(-)0.5で、前期(-0.1)に比べ、0.4ポイント「不足」が拡大した。

### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)37.7で、前期(-38.9)に比べ、1.2ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)41.9で、前期(-43.1)に比べ、1.2ポイント改善した。

### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)8.5で、前期(-8.6)に比べ、0.1ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—

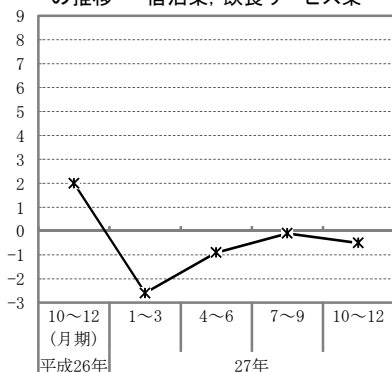


図25 資金繰り状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—

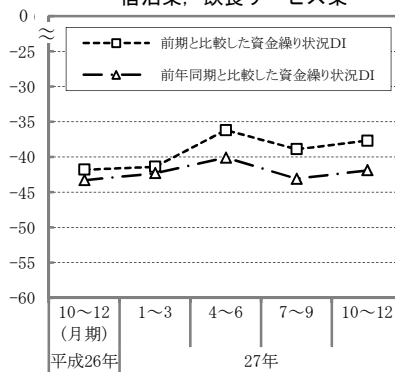
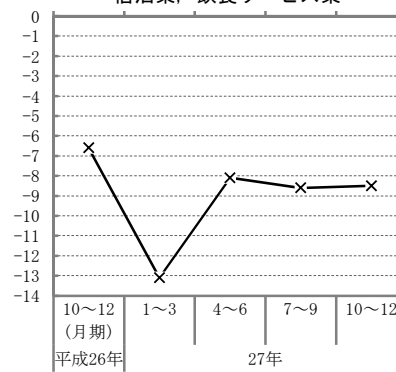


図26 雇用状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—



## 5 サービス業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成27年10～12月期）の業況判断DIは(-)61.3で、前期（平成27年7～9月期）(-65.8)に比べ、4.5ポイント改善した。

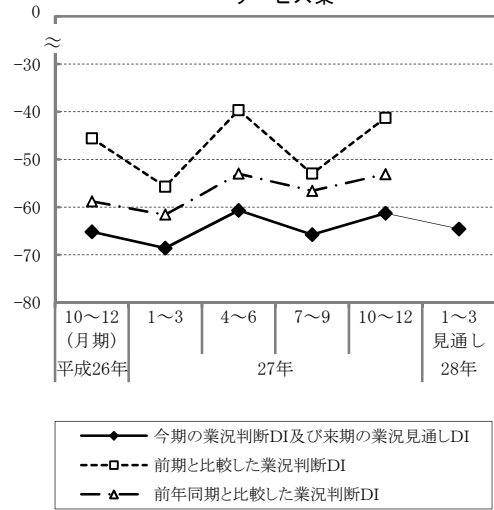
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)41.3で、前期(-53.0)に比べ、11.7ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成26年10～12月期）と比較した業況判断DIは(-)53.1で、前期(-56.6)に比べ、3.5ポイント改善した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成28年1～3月期）の業況見通しDIは(-)64.6で、今期の業況判断(-61.3)に比べ、3.3ポイントの悪化の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移  
—サービス業—



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

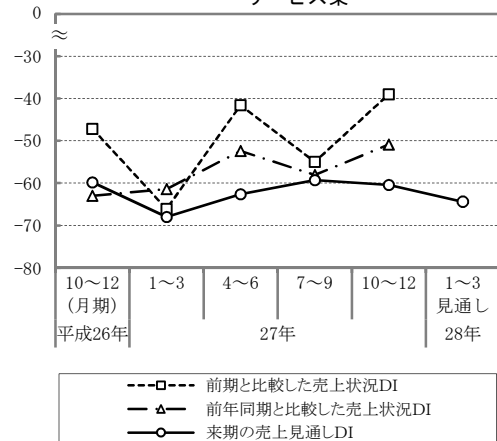
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)39.0で、前期(-55.0)に比べ、16.0ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)50.9で、前期(-58.1)に比べ、7.2ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)64.4で、前期における今期の売上見通し(-60.4)に比べ、4.0ポイントの悪化の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移  
—サービス業—



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

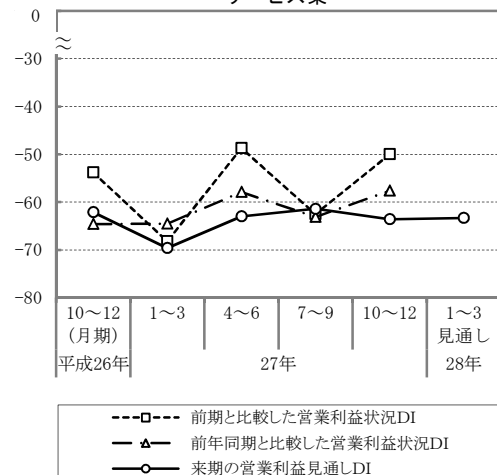
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)50.0で、前期(-62.5)に比べ、12.5ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)57.6で、前期(-63.1)に比べ、5.5ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)63.3で、前期における今期の営業利益見通し(-63.6)に比べ、0.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移  
—サービス業—



**(4) 製品・商品・原材料の在庫状況**

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) $4.0$ で、前期(+ $1.6$ )に比べ、 $2.4$ ポイント「過剰」が拡大した。

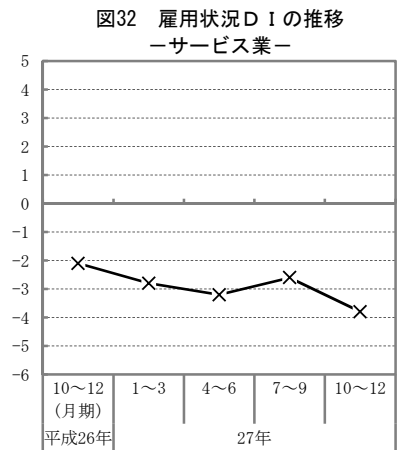
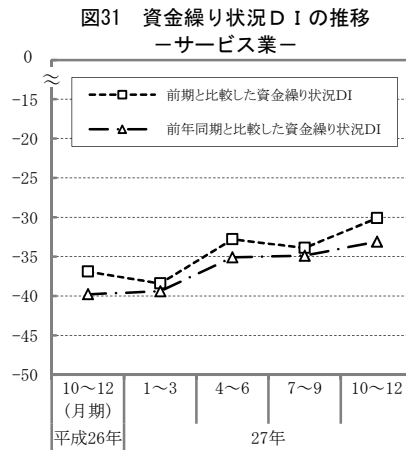
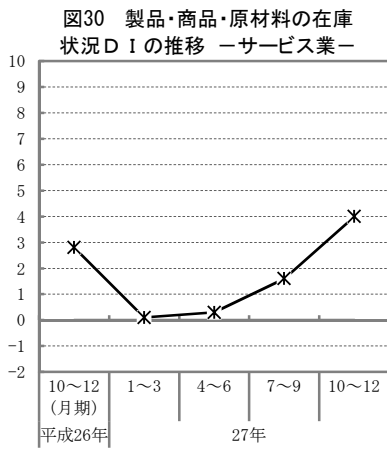
**(5) 資金繰りの状況**

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) $30.1$ で、前期(- $33.9$ )に比べ、 $3.8$ ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) $33.1$ で、前期(- $34.9$ )に比べ、 $1.8$ ポイント改善した。

**(6) 雇用状況**

今期の雇用状況DIは(-) $3.8$ で、前期(- $2.6$ )に比べ、 $1.2$ ポイント「不足」が拡大した。



### Ⅲ 営業収支

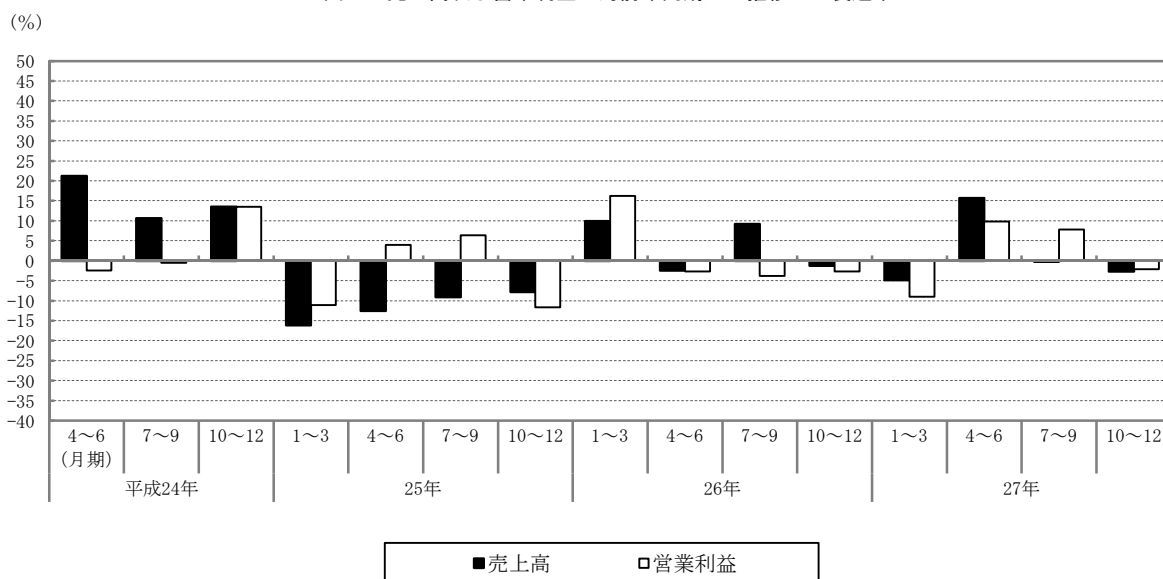
#### 1 製造業

##### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は237万9000円で、これに対する費用は売上原価が80万6000円、営業費が92万9000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は64万4000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)2.7%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(-)2.1%で、3期ぶりに減少した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 — 製造業 —

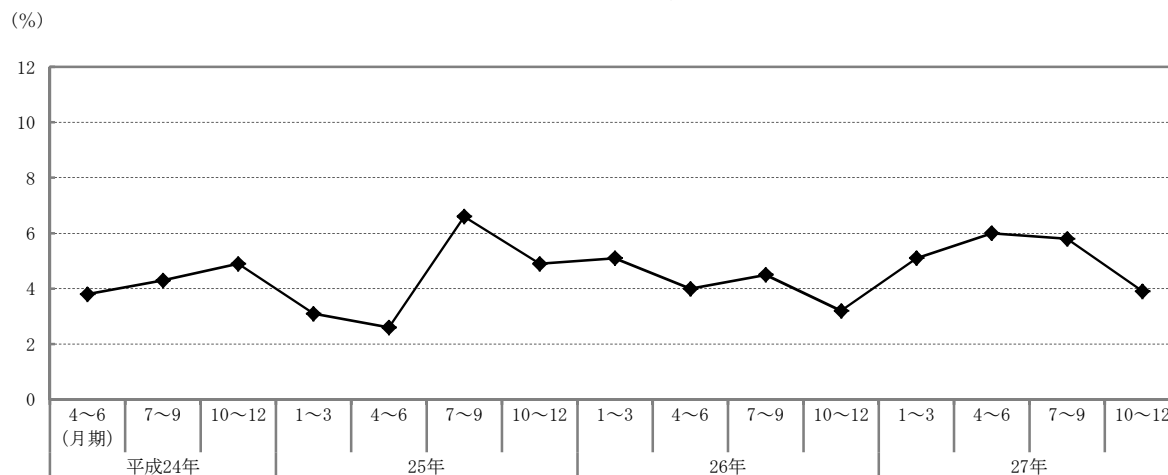


##### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は9万3000円で、前年同期(7万8000円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は3.9%で、前年同期(3.2%)を0.7ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 — 製造業 —



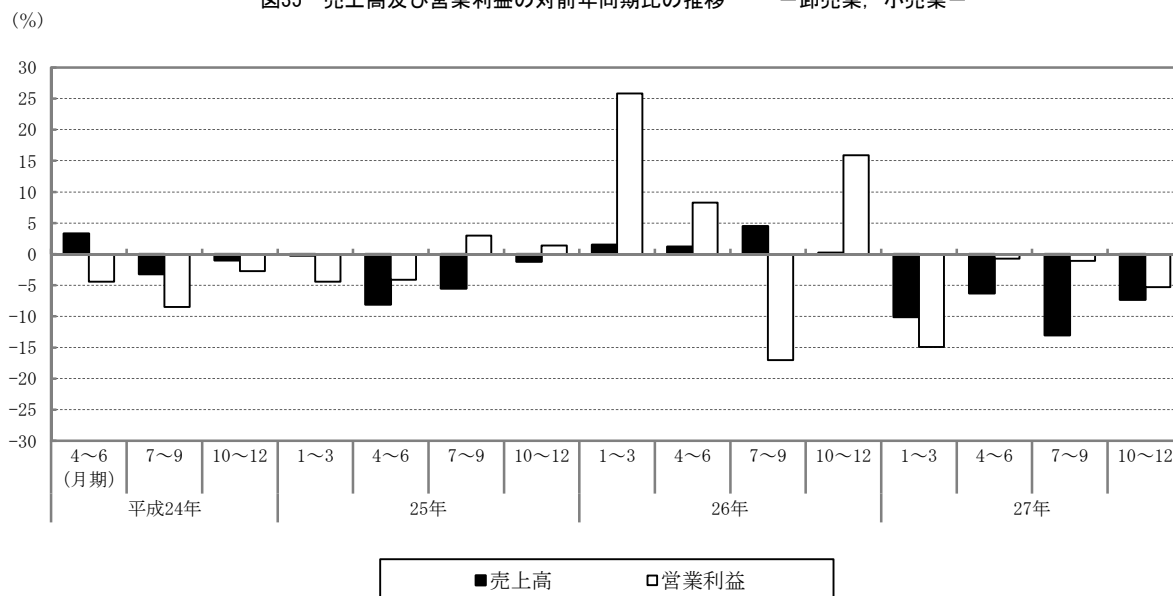
## 2 卸売業、小売業

### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は406万5000円で、これに対する費用は売上原価が272万円、営業費が86万1000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は48万4000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)7.3%で、4期連続で減少した。また、営業利益は(-)5.3%で、4期連続で減少した。

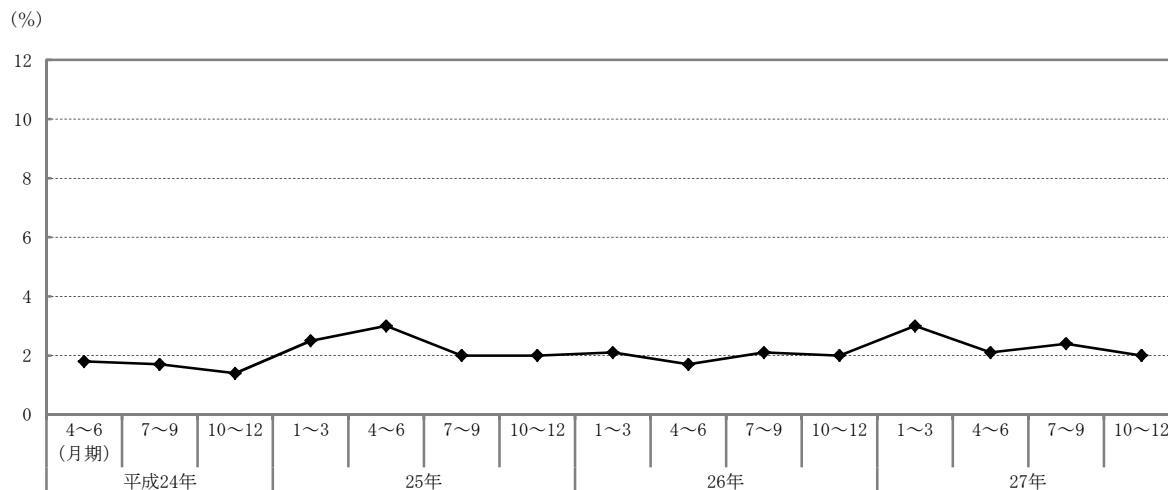
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー卸売業、小売業ー



### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は8万1000円で、前年同期(8万9000円)を下回った。また、設備投資率は2.0%で、前年同期(2.0%)と同率となった。

図36 設備投資率の推移 ー卸売業、小売業ー



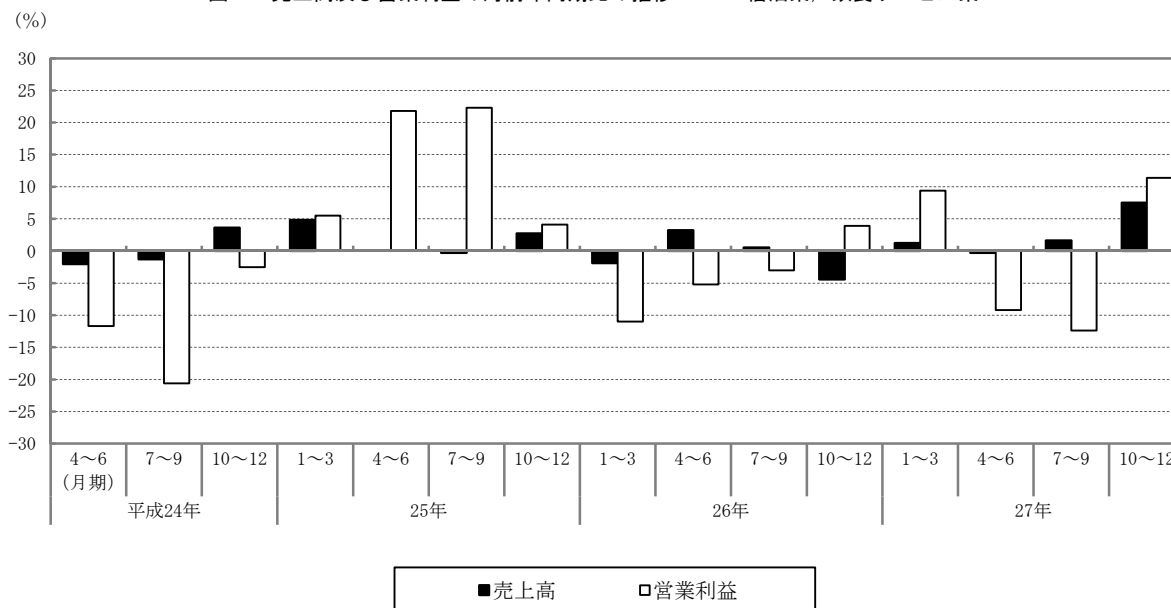
### 3 宿泊業，飲食サービス業

#### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は231万2000円で、これに対する費用は売上原価が98万6000円、営業費が85万6000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は47万円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) $7.5\%$ で、2期連続で増加した。また、営業利益は(+) $11.4\%$ で、3期ぶりに増加した。

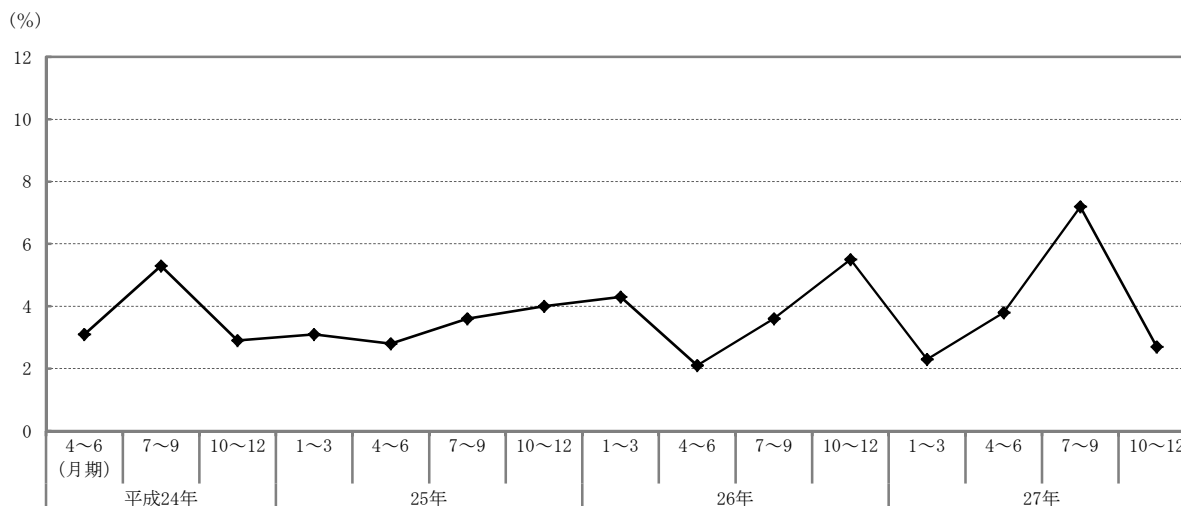
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



#### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は6万2000円で、前年同期(11万8000円)を下回った。また、設備投資率は $2.7\%$ で、前年同期( $5.5\%$ )を2.8ポイント下回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



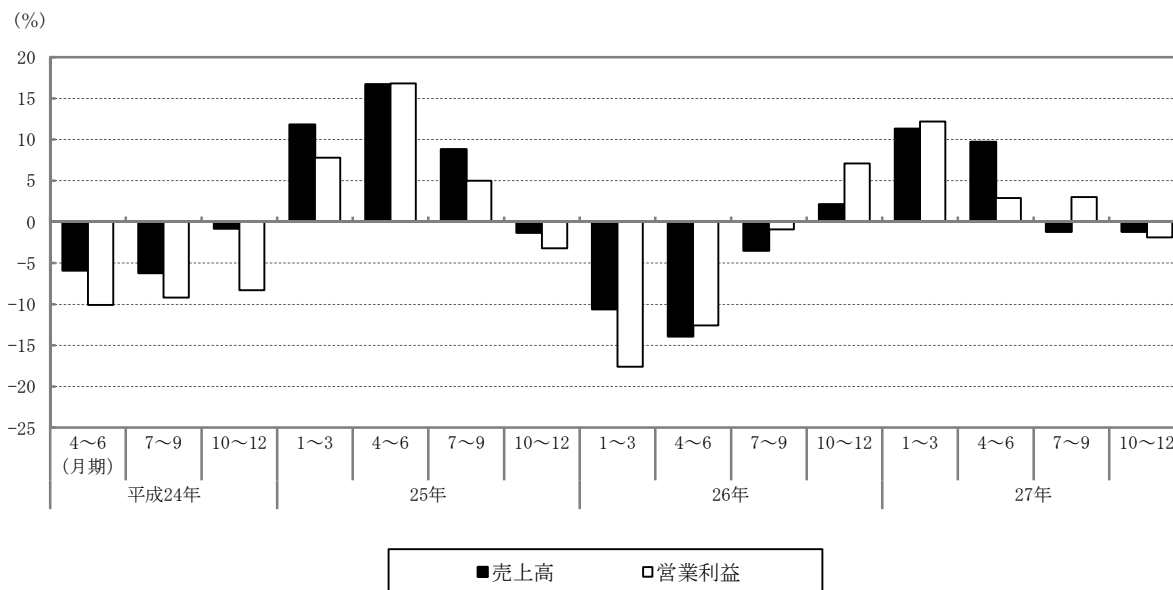
## 4 サービス業

### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は128万5000円で、これに対する費用は売上原価が20万1000円、営業費が61万3000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は47万1000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)1.2%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(-)1.9%で、5期ぶりに減少した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -サービス業-



### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は7万1000円で、前年同期(4万3000円)を上回った。また、設備投資率は5.5%で、前年同期(3.3%)を2.2ポイント上回った。

図40 設備投資率の推移 -サービス業-

